

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成19年>>

<週報> 第34週 (平成19年 8月20日 ~ 8月26日)

発行日：平成19年8月29日

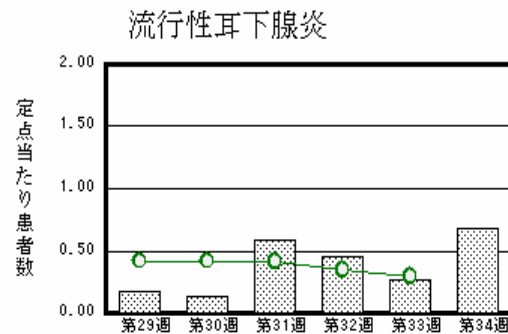
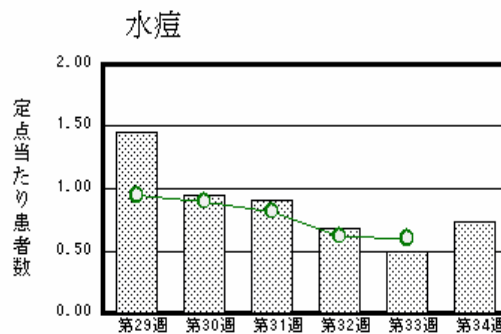
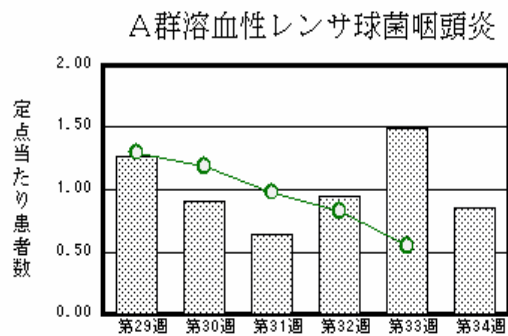
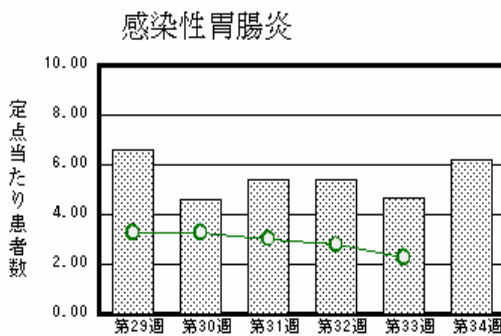
発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎136名(6.18名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎19名(0.86名) 水痘16名(0.73名) 流行性耳下腺炎15名(0.68名) 突発性発しん13名(0.59名) ( )内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(136名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(19名) 水痘(16名) 流行性耳下腺炎(15名) 突発性発しん(13名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は136名です。定点当たり報告数は増加しました(4.68名 6.18名)。地域別にみると福井地区11.00名、坂井地区9.67名、二州地区3.67名、丹南地区3.00名、奥越地区2.00名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は19名です。定点当たり報告数は減少しました(1.50名 0.86名)。地域別にみると坂井地区2.00名、奥越地区1.00名、福井地区0.86名、丹南地区0.80名、二州地区0.33名の順となっています。
5. 【水痘】報告数は16名です。定点当たり報告数は増加しました(0.50名 0.73名)。地域別にみると二州地区1.67名、福井地区1.29名、丹南地区0.40名の順となっています。
6. 【流行性耳下腺炎】報告数は15名です。定点当たり報告数は増加しました(0.27名 0.68名)。地域別にみると二州地区4.00名、福井地区0.43名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## 感染症週報全国版の要点

2007年第32週号(8月6日~8月12日)要点

発生動向総覧	<第32週> ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多いノ その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 第32週の報告数は157例であり、累積報告数は2,123例となった <細菌性赤痢の国内における集団発生について> 第32週までに、国内感染とされる細菌性赤痢が110例報告された
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2007年ノ ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス2007年ノ 麻疹ウイルス2007年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	ウガンダでマールブルグ病の流行ノ インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核1名の報告がありました。
- 3類感染症: 報告はありませんでした。
- 4類感染症: 報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象: 報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成19年 第34週 平成19年8月20日(月)～平成19年8月26日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(33週)
インフル エンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを 除く)									332 0.07
小児科 (22)	RSウイルス感 染症									151 0.05
	咽頭結膜熱		1 0.33	1 0.33		1 0.50	1 0.20	4 0.18	4 0.18	801 0.28
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	6 0.86	6 2.00	1 0.33		2 1.00	4 0.80	19 0.86	33 1.50	1571 0.55
	感染性胃腸炎	77 11.00	29 9.67	11 3.67		4 2.00	15 3.00	136 6.18	103 4.68	6509 2.26
	水痘	9 1.29		5 1.67			2 0.40	16 0.73	11 0.50	1717 0.60
	手足口病	2 0.29						2 0.09	12 0.55	2439 0.85
	伝染性紅斑	6 0.86	2 0.67			2 1.00		10 0.45	17 0.77	630 0.22
	突発性発しん	8 1.14			1 0.50	3 1.50	1 0.20	13 0.59	7 0.32	1690 0.59
	百日咳									68 0.02
	風しん									7 0.00
	ヘルパンギーナ	3 0.43	1 0.33	3 1.00	1 0.50		5 1.00	13 0.59	53 2.41	5120 1.78
	麻しん(成人麻し んを除く)									61 0.02
	流行性耳下腺 炎	3 0.43		12 4.00				15 0.68	6 0.27	832 0.29
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				3 0.00
	流行性角結膜 炎								1 0.33	401 0.62
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	2 1.00						2 0.33	1 0.17	5 0.01
	無菌性髄膜炎									29 0.06
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50	*					1 0.17	3 0.50	142 0.31
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)								1 0.17	9 0.02
	成人麻しん								2 0.33	22 0.05

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

\* 欄には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成19年第34週 平成19年8月20日(月)～平成19年8月26日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
～5ヶ月		～5ヶ月				2	2									～5ヶ月				1				
～11ヶ月		～11ヶ月			1	14	2			7			1			～11ヶ月								
1歳		1歳		3	2	15	3			6			4		2	1歳			1					
2歳		2歳			2	12	2						5		1	2歳								
3歳		3歳		1	1	9	2		3						2	3歳					1			
4歳		4歳			1	10	5		1				1		8	4歳								
5歳		5歳			6	8		1	1							5歳								
6歳		6歳			1	14		1	1							6歳								
7歳		7歳			2	6			2							7歳								
8歳		8歳			1	6									2	8歳								
9歳		9歳				5										9歳								
10～14歳		10～14歳			2	13			2				1			10～14歳								
15～19歳		15～19歳				8										15～19歳								
20～29歳		20歳以上				14							1			20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		4	19	136	16	2	10	13			13		15	合計			2		1			
前期計		前期計		4	33	103	11	12	17	7			53		6	前期計		1	1		3	1	2	
当期間/前期	***	当期間/前期	***	1	0.58	1.32	1.45	0.17	0.59	1.86	***	***	0.25	***	2.5	当期間/前期	***		2	***	0.33			
増減数		増減数			-14	33	5	-10	-7	6			-40		9	増減数		-1	1		-2	-1	-2	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき